

新年のあいさつ



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、多大なるご支援ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

令和6年4月から障害者差別解消法が改正され、事業所においても合理的配慮が義務化となりました。当センターは、引き続き聴覚障がい者に対する情報保障の充実に求め各関係機関に働きかけを行ってまいります。

本年も皆様のご期待に沿えるよう、職員一同、誠心誠意努めてまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

みなさまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

理事長 村上 健



ふくみみサロン 送迎時間変更のお知らせ

聴覚に障害を持つ方が、仲間作り・健康作り・生きがいつくりのために、だれでも自由に参加ができる「ふくみみサロン」を開催しています。

場 所:福井県社会福祉センター 2階 プレイルーム

時 間:午前10時～午後3時(出入り自由)

持ち物:飲食物は自分で用意してください。(お湯は準備してあります)

送迎場所:福井駅 東口 ①高速バス乗降場

行き:11:00～11:15(変更になりました)

待っている方をセンターまで送ります。

帰り:15:00にセンターを出て福井駅に送ります。



開放日
1月10日(金)・24日(金)
2月14日(金)・28日(金)
3月14日(金)・28日(金)



内 容:自由におしゃべり・DVDを見るなど、昼寝もOK!

プレイルームを使ってやりたいことがある時は、ご相談ください。

血圧計を置いておきます。自由に計測してみてくださいね。

チラシはHP掲載、センターに置いてあります。

<3月14日(金)13:30～14:30はヤクルト北陸を招いて健康セミナー『おなか元気教室』を

開催する予定。詳細は後日、お知らせいたします。>



耳の日記念 フェスティバル 2025

3.9 日

手話言語通訳・
要約筆記が
付きます

定員
300名

参加
無料

手話で漫才!?手話×お笑い=シュワライ!
よしもと手話ブ!がやってくる!

会場 福井県生活学習館(ユー・アイふくい)
福井市下六条町14-1

タイムスケジュール

- 13:00 受付
- 13:30 開会挨拶
- 13:40 よしもと手話ブ!漫才
- 14:00 ゲーム
- 14:20 休憩
- 14:30 デフリンピッククイズ
- 15:00 終了(予定)

県内各団体活動紹介
パネル展示も!

手話ブ!

よしもと手話ブ!

手話ができる、手話に興味がある吉本芸人が集まって、『手話×お笑い=シュワライ!』をテーマにエンタメの分野から聴覚障害への理解促進、手話普及に取り組み、学習、お笑いライブ、イベント出演、講演会、学校授業など幅広く活動中!

中学生以下のお子様には
お土産プレゼント! ※先着50名



東京2025デフリンピック
TOKYO 2025 DEAFLYMPICS
2025.11.15-26

デフリンピックが日本で初めて開催されます!

デフリンピックとは、デフ+オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味で、デフリンピックは国際的な「聞こえない、聞こえにくい人のためのオリンピック」です。東京2025デフリンピック(11月15日~26日)は、日本では初めての開催であり、1924年にフランスのパリで第1回デフリンピックが開催されてから100周年の記念となる大会です。

お申し込みは
お早めには

主催/福井県聴覚障がい者協会

後援(予定)/福井県、福井新聞社、NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、福井ライオンズクラブ

お問い合わせ

福井県聴覚障がい者協会 〒910-0026 福井市光園2-3-22 福井県社会福祉センター2F
TEL 0776-63-5572 FAX 0776-63-6692

参加のお申し込みはこちら▶

申込URL <https://forms.gle/aZvwtm4EpE5c8cpz7>
参加をご希望の場合は事前にお申し込みください。
定員(300人)になり次第、受付を終了させていただきます。
定員を超えた場合は入場をお断りする場合がございます。



みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

生活教室 福井県手話通訳問題研究会・福井県ろうあ協会

11月16日(土)県社会福祉センターにおいて、福通研・県ろう協タイアップの学習会が開催され、28名(ろう者15名)のかたが参加されました。タイアップ学習会は、今年度でちょうど20回目を迎えます。その節目の年にふさわしく、テーマは「ずーっと生き生き!!健康ライフ」。ずーっと健康で楽しく暮らせることは私たちの究極の願いです。

講師には理学療法士でパラスポーツの指導員やしあわせ福井スポーツ協会のアドバイザーをされている佐治仁美先生をお迎えしました。

健康年齢に深く関わる「サルコペニア」「ロコモ」「フレイル」についてのお話をされました。「鍵は筋肉です。筋肉が減ると、力が落ちます。落ちると、歩くスピードが遅くなって、転んだり、落っこちたり。そして、体の能力も落ちて、病気、怪我、そして医療、介護が必要な状態になる」そうです。それらを予防するための体操を教えていただき、みんなで汗を流しました。



生活教室 聴覚障がい者と親の会

令和6年12月15日(日)鯖江市のラポーゼかわだにて、19組25名の親子が参加してパン作り体験と交流会を開催しました。当日は雪が積もる寒い日でしたが、難聴児だけでなくその兄弟も一緒に、アンパンマンや、ウサギなどいろんな形に生地を作り、発酵して膨らむ様子や、パンの焼けるおいしそうなおい、オーブンの熱などを感じながら焼き上がりを待ちました。自分たちで作ったパンを昼食にいただき、その後は言語聴覚士の橋本かほる先生にアドバイスをいただきながら、普段の生活で困っていることや、工夫していること、子供とのかかわり方などをお互いに情報交換することができました。

保護者が情報交換する横で、子供たちはおもちゃで遊んだり、膨らませた風船で遊んだりと楽しく過ごしていました。

普段地域学校に通っている子、ろう学校に通っている子、健聴の兄弟姉妹もごちゃ混ぜになり仲よく遊んでいる姿はほほえましかったです。子供たちにとっては、体験を通して、言葉やコミュニケーションの力を育むきっかけになればと思います。



坂井地区 ふくみみサロン

令和6年11月5日(火)に高椋コミュニティーセンターにて、ふくみみサロンを開催しました。参加者は18名(ろう者8名)でした。

～参加者の感想～

日常の事を手話でお知らせする方法や視覚で表現する方法等普段のサークル内容とは違って楽しかったです。また、サークル仲間のろう者でない方とコミュニケーションが取れて良かったです。Oさん

初めて会うろう者の方も居たのでグループに分かれ交流する時間もあつたら良かったです。Kさん

久しぶりに他のろう者に会え元気な姿を見て嬉しかったです。村上施設長から脱水症など生活に役立つ説明を聞いて日頃から気をつけないと、と反省しました。初めての卓球バレーで盛り上がり身体を動かすと頭も冴えて会話が弾み楽しい時間でした。Hさん



奥越地区 ふくみみサロン

令和6年12月19日(木)に多田記念大野有終会館結とぴあにて、ふくみみサロンを開催しました。参加者は14名(ろう者は6名)でした。

～参加者の感想～

ロコモ体操で準備体操していたので、ボッチャや紙風船バレーのとき、身体が動いて良かったです。ボッチャはチームで作戦とかの話ができたなら勝てたのかな?って思うくらい、負けたのが悔しかったです。また、ボッチャやりたいです。紙風船バレーが一番盛り上がっていて、みんなの目がキラキラしていました。奥越という狭いところでもなかなか会えない人とたくさん話ができ楽しかったです。Tさん

ふくみみサロンに参加して、ろう者と久しぶりに会えておしゃべりして楽しかった。ボッチャの対戦してみたけど、負けてしまいました。寒さを忘れて楽しい時間でした。また参加したいと思います。Mさん



嶺南地域行政を回りました

令和6年11月27日(水)、京都府綾部市にある「いこいの村」、県ろうあ協会、福井県聴覚障がい者協会が合同で嶺南地区の行政を回り「手話言語を基本コミュニケーション手段としている聴覚障がい者(ろう者・難聴者)の各福祉サービス利用についての配慮のお願い(要望)」を提出しました。

(高浜町、おおい町、小浜市)と(若狭町、美浜町、敦賀市)の2班に分かれて回り、各自治体の担当者にろう高齢者の現状と、ろう者が入所する施設でも手話言語が使えることについての重要性を説明しました。また、「いこいの村」から「いこいの村」が行っているショートステイの内容と、福井県嶺南地域でも利用可能であることが説明されました。※嶺南地区限定で現在はショートステイのみ利用可

今回、嶺南地域に暮らす聴覚障がい者の現状や行政の考え等を聞くことができたことと、いこいの村をはじめ、県ろうあ協会や県聴覚障がい者センターについて詳しく知っていただくことで、嶺南地域の行政との関係が深まる良い機会となりました。